

2018.06.21



九重連山・三俣山（みまたやま）1745mの
イブキトラノオ、シライトソウ
(長者原約1000m～雨ヶ池1350m～坊ガツル約1200m
～法華院温泉1303m～諏峨守越（すがもりごし）
1540m～長者原約1000mの周回コース)



黒岩山1503m



上泉水山1447m

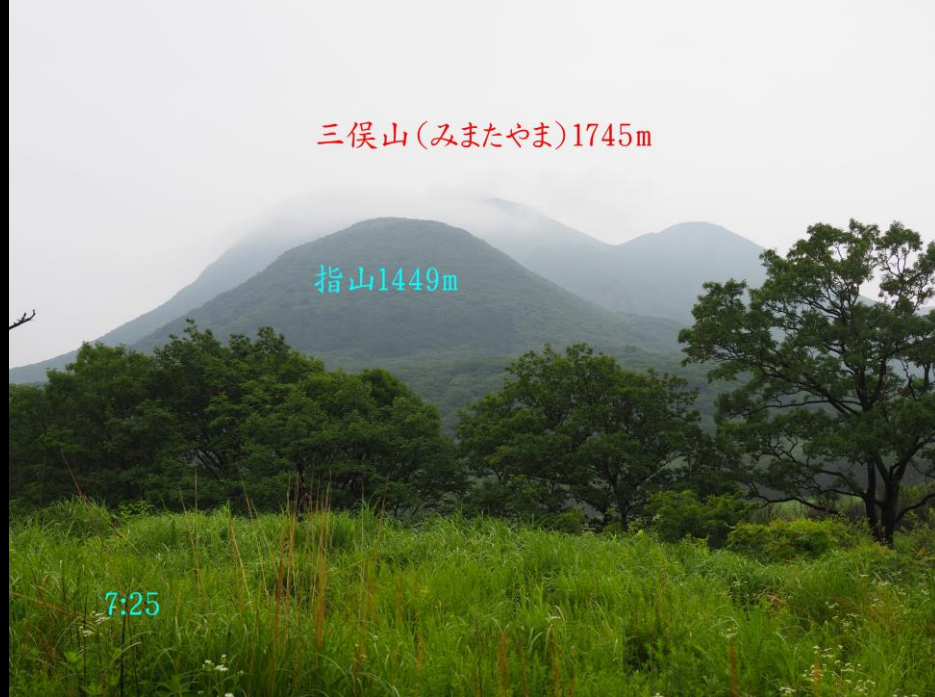


7:22 長者原ビジターセンター駐車場

長者原ビジターセンター

トイレ

7:24 長者原ビジターセンター駐車場



三俣山(みまたやま)1745m

指山1449m

7:25



ヒメジョオン(姫女苑)
キク科 要注意外来生物



黒岩山1503m

上泉水山1447m

7:30
大分県九重町・夕凧原湿原



7:31 大分県九重町・夕凧原湿原



7:32
大分県九重町・
夕デ原湿原



ノアザミ(野薊)
キク科



オクラノオ(丘虎尾)
サクラソウ科



イブキトラノオ(伊吹虎の尾)
タデ科



イブキトラノオ(伊吹虎の尾)
タデ科

長者原の東端および湯沢台の西北麓に、ヌマガヤ・ミズゴケなどの湿地植物が生育するところで、中央部に星生山を源流とする酸性の強い白水川が流れている。この川は、南から北に大きな屈曲を見せながら、横断道路を横切ってへべヶ池の湿地帯を通り鳴子川に注いでいる。

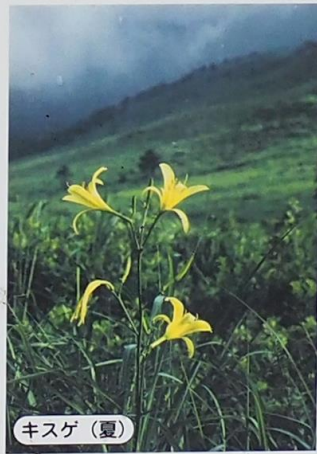
湿原の環境は、春から夏のお花畑、秋のススキの穂波、冬の霧氷の輝きなど四季折々の景観美を見せる。この景観の観賞とミズゴケなどの植物を保護するため、木道が整備され自然研究路となっている。

タデ原でみられる代表的な草花

撮影：上野哲朗氏



サワオグルマ (春)



キスゲ (夏)



アキノキリンソウ (秋)



ノハナショウブ (夏)



ヤマラッキョウ (秋)

ここは国立公園です。
湿原植物の盗採は法律
により罰せられます。



環境省

ビジターセンター

自然研究路

雨ヶ池越

7:37
雨ヶ池越に向かう

坊がつる・法華院温泉
↑
雨ヶ池越え

阿蘇くじゅう国立公園

7:41

→
長者原
Chojabaru

←
坊ガツル
Bogatsuru



環境省



7:43



コゴメウツギ(小米空木)
バラ科



8:20
休憩所・指山分岐



8:21
指山分岐



ギンリョウソウ(銀竜草) ツツジ科
葉緑素を持たない多年生腐生植物
別名:ユウレイタケ(幽霊茸)



コゴメウツギ
(小米空木)
バラ科



コゴメウツギ(小米空木)
バラ科





現在地



9:37



ベニバナニシキウツギ
(紅花二色空木)
スイカズラ科



ベニバナニシキウツギ
(紅花二色空木)
スイカズラ科



ベニバナニシキウツギ(紅花二色空木)
スイカズラ科



シロドウダン(白満天星)
ツツジ科 落葉低木



シロドウダン(白満天星)
ツツジ科 落葉低木



9:54
雨ヶ池1350mに到着



イブキトラノオ(伊吹虎の尾)
タデ科



9:56
雨ヶ池1350m



9:57
雨ヶ池1350m

雨ヶ池について

このあたりの窪地は湿地帯で雨が降ると池ができます。雨ヶ池はノハナショウブやヤマラッキョウの群生地となっており、周辺にも多くの貴重な植物が自生しています。貴重な植生を荒らさないように木道から楽しみましょう。

降雨後の雨ヶ池



ノハナショウブの群生



雨ヶ池の植物



クサボケ 4~5月



イワカガミ 5~6月



キスゲ 7~8月



ノハナショウブ 7~8月



マツムシソウ 8~9月



ヤマラッキョウ 9~10月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

クサボケ

イワカガミ

キスゲ

ノハナショウブ

マツムシソウ

ヤマラッキョウ

降雨後の雨ヶ池

9:59



ハナショウブの群生

9:59





シモツケ(下野)
バラ科 落葉低木
別名:キシモツケ(木下野)



ソクシンラン(束心蘭)
キンコウカ科



ベニドウダン
(紅満天星)
ツツジ科



シライソウ(白糸草)
ユリ科



ベニドウダン(紅満天星)
ツツジ科



シモツケ(下野) バラ科 落葉低木
別名:キシモツケ(木下野)



シロドウダン(白満天星)
ツツジ科 落葉低木



ミヤマキリシマ(深山霧島)
ツツジ科 落葉低木



コミネカエデ(小峰楓) カエデ科



ウリハダカエデ(瓜膚楓) カエデ科



11:11
坊ガツル約1200mに到着



ニガナ(苦菜)
キク科



シライトソウ(白糸草)
ユリ科



シライツウ(白糸草)
ユリ科



シライツウ(白糸草)
ユリ科

九州自然歩道

坊がツル

坊がツルは大船山、平治岳、三俣山、久住山などの山々に囲まれた標高1,230mの盆地で、中央に筑後川の水源地・鳴子川が南北に蛇行して流れる九州では珍しい高層湿原です。ここは、以前からくじゅう山群への登山基地としてキャンプ場があり、四季を通じて大勢のキャンパーが訪れる美しい景観と清水、温泉に恵まれた楽園です。昭和52年にNHKの「みんなのうた」によって紹介された「坊がツル讃歌」は、この美しい湿原に想いをよせた山男たちの歌です。

11:31

環境庁・大分県



ラムサール条約湿地

くじゅう坊ガツル・タデ原湿原

区域図



この場所は、「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」(通称：ラムサール条約。湿地の保全と賢明な利用の促進を目的とする国際条約)に基づき、国際的に重要な湿地の登記簿に記載されている湿地です。

- 登録年月日：平成17年11月8日
- 面積：91ha
 - 坊ガツル湿原（竹田市）53ha
 - タデ原湿原（九重町）38ha

●湿地の国際的重要性

山岳地域に形成された中間湿地として、国内最大級の規模を有し、多様な地質と地形を反映した植物分布となっており、我が国を代表する湿地である。

これらの植生を維持していくため、毎年春季には、地元の人々によって、野焼きが行われている。

火山の噴煙と草原、森林がおりなす美しい景観のなかで、植物観察・観賞・登山などに沢山の利用者が訪れている。

環境省九州地方環境事務所

坊ガツル湿原



タデ原湿原



大船山(たいせんざん)1786m



立中山(たちゅうざん)1464m



11:36

鳴子川

大船山(たいせんざん)1786m



立中山(たちゅうざん)1464m→

炊事棟



11:40

坊がつるキャンプ場



北大船山(きたたいせんざん)1706m

大船山(たいせんざん)1786m

12:24 坊ガツル約1200m

九州自然歩道

法華院温泉

この温泉は、標高1,303mの九州では最も高い所に湧き出る温泉として知られ、泉質は単純硫化水素泉で、動脈硬化症や高血圧症などに効くといわれています。ここは、約500年前に天台宗の修験場として九重山法華院白水寺が建立され、修験僧の出入りでにぎわいを見たが、明治になると廃寺となり、本坊だけが残る由緒あるところです。現在は、雄大なくじゅうの山々が望める山の温泉宿として、山男の疲れをいやす秘湯が人気を集めています。

12:30

環境庁 大分県



ミヤマヨメナ(深山嫁菜) キク科



30

30

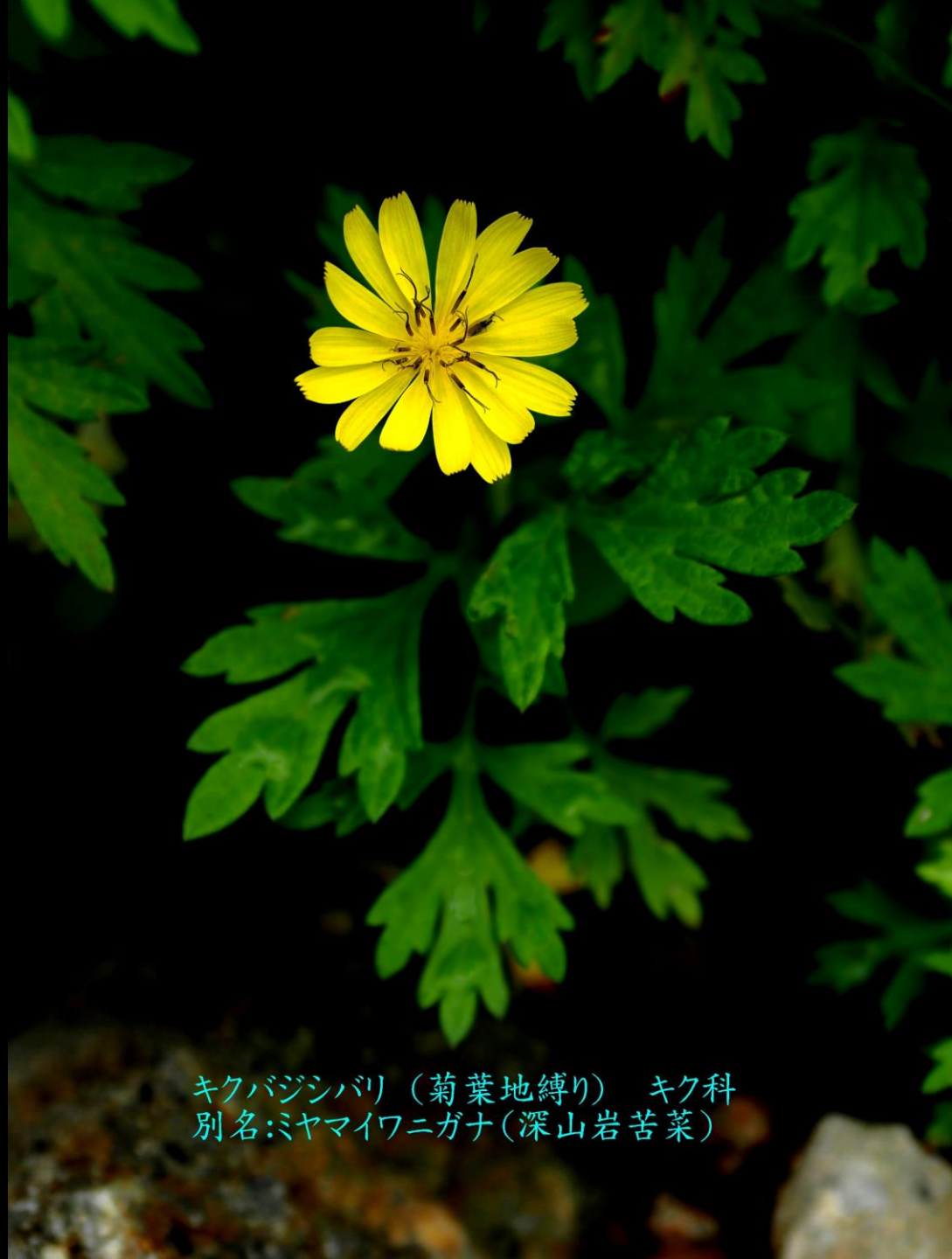
20.5 °C

20

20

10

10



キクバジシバリ (菊葉地縛り) キク科
別名:ミヤマイワニガナ (深山岩苦菜)



キクバジシバリ (菊葉地縛り) キク科
別名:ミヤマイワニガナ(深山岩苦菜)



ジシバリ(地縛) キク科
別名:イワニガナ(岩苦菜)



ヤマオダマキ(山苧環)
キンポウゲ科





ヤマオダマキ
(山芋環)
キンポウゲ科



サワヒヨドリ？



タンナサワフタギ
(耽羅沢蓋木)
ハイノキ科



13:13



13:14



坊ガツル約1200m

13:21



13:31 ゴジラ岩



硫黄山

13:34 北千里ヶ浜



13:47

三俣山(みまたやま)1745m



ベニバナニシキウツギ
(紅花二色空木)
スイカズラ科



三俣山・西峰1678m

13:52



13:55

すがもり避難小屋の愛の鐘

た
九
の
山



休憩等禁止のお願い

この先300メートルの
区間は落石等発生しやすい
場所です。

災害から身を守るため休
憩・休息等することなく
下山しましょう。

大分西部森林管理署

連絡先 0973-232161

14:15



14:15

三俣山(みまたやま)1745m

すがもり峠



14:16

諏娥守越
Sugamorigoe

長者原
Choujabaru

長者原
大田川

くまもと県地区管理運営協議会

14:22



クマイチゴ(熊莓)
バラ科 落葉低木



クマイチゴ(熊莓)
バラ科 落葉低木



クマイチゴ(熊莓)
バラ科 落葉低木



ノイバラ(野茨)バラ科 落葉低木
別名:ノバラ(野薔薇)



筑後川源流の碑

阿蘇くじゅう国立公園 長者原

九重町長 坂本和昭 書



15:40

大分県九重町・タデ原湿原



クララ(眩草) マメ科
オオルリシジミの幼虫の食草



ブタナ(豚菜)
キク科 帰化植物



花弁礼山1170m

15:48 大分県九重町・タデ原湿原



16:05 長者原ビジターセンター

16:11

長者原ビジターセンター駐車場

8時間50分の行動時間

END